

要 望 書

福井県知事 杉本 達治 様

要 望 事 項

1. 老朽原発高浜1・2号の再稼働、及び関電の「中間貯蔵と同義」とする使用済燃料のフランスへの搬出計画について、県民説明会等を開いて、県民の意見を直接聴くこと。
2. 関電は中間貯蔵の計画地点を確定できず、年内に確定する意思のないことが明らかになりました。福井県知事との約束通り、高浜1・2号の再稼働の中止、美浜3号の運転を停止するよう関電に求めること。
3. 発熱量の高い使用済MOX燃料を、2020年代後半に搬出が可能なのかを関電・国に確認すること。

【理 由】

1. 関電の計画は「中間貯蔵と同等の意義」ではありません

関西電力は6月12日、使用済MOX燃料の再処理実証研究に伴い、高浜原発に貯蔵されている使用済MOX燃料約10トン、使用済ウラン燃料約190トンを、2020年代後半にフランスに搬出する方針を明らかにしました。関電はこれについて「中間貯蔵と同等の意義がある」「今年末までに計画地点を確定するという知事との約束はひとまず果たされた」と述べています。国もこの考えを追認しました。

これに対して、6月23日の福井県議会・全員協議会では、説明に来た国に対して批判が噴出しました。その後の県議会でも「同等の意義ではない」と批判が続いています。関電の計画は、県と県民を愚弄するもので、到底認めることはできません。

関電が今年末までを期限として約束していたのは、2030年頃に2,000トンU規模で操業開始とする中間貯蔵施設の計画地点を確定することでした。今年3月末時点で、高浜・美浜・大飯原発には合計で3,680トンUの使用済燃料が貯蔵されています。今回の計画では、搬出量はその約5%にすぎず、継続性もありません。さらに、フランスへの搬出は、中間貯蔵とは関係がないと電事連会長が認めています。

2. 知事との約束を反故にして、高浜1・2号の再稼働は許されません

関電は2021年2月に、今年末までに中間貯蔵施設の計画地点が確定しなければ、その後確定できるまでの間、老朽原発3基（美浜3号、高浜1・2号）の運転は止めると知事に約束しました。ところが今回の回答で、その計画地点を年内に確定する意思のないことがはっきりしました。他方、6月22日には高浜1号で燃料装荷を開始し、7月28日に1号を、9月15日に2号の原子炉を起動する計画で再稼働の準備を進めています。許されることではありません。

知事との約束通り、高浜1・2号の再稼働を中止し、美浜3号の運転を停止すべきです。六ヶ所再処理工場は既に26回も竣工が延期され、ほとんど稼働の見込みはありません。「もんじゅ」は廃炉となり、核燃料サイクルは事実上破綻しています。これ以上、行き先のない使用済燃料を生み出すことは許されません。

3. 県民の意見を直接聴くべきです

私たちは6月初めより、高浜町の73%、約3,100世帯（7月4日現在）に戸別訪問・チラシ配布を行ってきました。多くの町民から老朽原発の再稼働への不安の思い、関電の計画はよく分からない等の声を聴きました（別紙資料）。

知事は、議会・立地自治体の意見を聞いて総合的に判断すると述べていますが、県民の声をまず聴くべきではないでしょうか。櫻本副知事は、6月23日に説明に来た資源エネルギー庁次長に、「（国が）評価した理由が県民に分かりにくく、具体性に乏しい」とも述べています。

ぜひ、県民説明会等を開催して、県民の意見を直接聴くべきです。

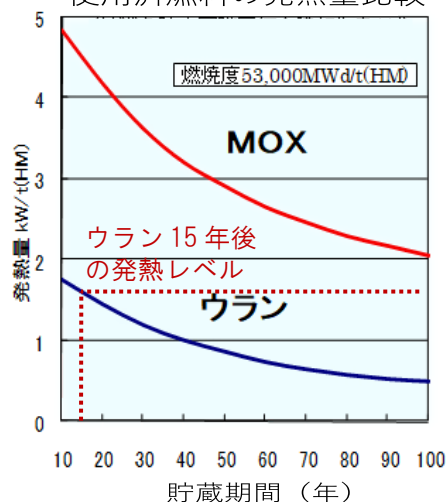
4. 発熱量の高い使用済MOX燃料を搬出できるのでしょうか

関電は2020年代後半に使用済MOX燃料等をフランスに搬出するとしています。しかし、使用済MOX燃料は通常の使用済ウラン燃料より発熱量が高い厄介な燃料です。使用済ウラン燃料の場合、15年以上プールで冷やした後乾式キャスクに移すことができます。しかし、使用済MOX燃料の発熱量は高く、使用済ウラン燃料と同等の発熱量になるには100年以上プールで冷却する必要があります（右上図）。

高浜原発のプールに保管されている使用済MOX燃料は、最も古いもので2020～2021年の定期検査で取り出されたものです（右下図）。2020年代後半の搬出までにプールでの保管はわずか10年です。このような状況で、使用済MOX燃料の搬出が可能なのでしょうか。電事連の資料（2023年6月2日）では、使用済MOXの「具体的な貯蔵運搬方法についても検討を進める」と書かれているだけです。

これらについて説明・議論がなされていません。関電・国に確認し、県民に説明するべきです。

使用済MOX燃料は
100年以上プールで冷却する必要がある
使用済燃料の発熱量比較



図は「プルトニウム燃料産業—その影響と危険性」核戦争防止国際医師会議報告書（1995/10/）149頁より作成

高浜原発のMOX燃料(単位は体) [関電ホームページ資料より作成]

高 浜 3 号				高 浜 4 号			
定検	新規装荷	取り出し (使用済MOX)	装荷実数	定検	新規装荷	取り出し (使用済MOX)	装荷実数
第20回 2010-2011	8		8	第20回 2011-2017	4		4
第21回 2012-2016	16		24	第21回 2018	16		20
第22回 2016-2017			24	第22回 2019-2020			20
第23回 2018	4		28	第23回 2020-2021		4	16
第24回 2020-2021		8	20	第24回 2022	16	16	16
第25回 2022		16	4				
合 計	28	24		合 計	36	20	

2023年7月12日

ふるさとを守る高浜・おおいの会/ 安全なふる里を大切にする会（若狭町）/ 原発なしで暮らしたい宮津の会/ 避難計画を案ずる関西連絡会（連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/ 原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会）

この件の連絡先 安全なふる里を大切にする会：若狭町 石地 優 TEL：090-7741-8303

美浜の会：大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL：06-6367-6580 FAX：06-6367-6581